

# LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第73期(決算日2017年2月23日) 第74期(決算日2017年3月23日) 第75期(決算日2017年4月24日)  
第76期(決算日2017年5月23日) 第77期(決算日2017年6月23日) 第78期(決算日2017年7月24日)

作成対象期間(2017年1月24日～2017年7月24日)

第78期末(2017年7月24日)	
基準価額	3,893円
純資産総額	3,815百万円
第73期～第78期	
騰落率	1.3%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型)」は、2017年7月24日に第78期の決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

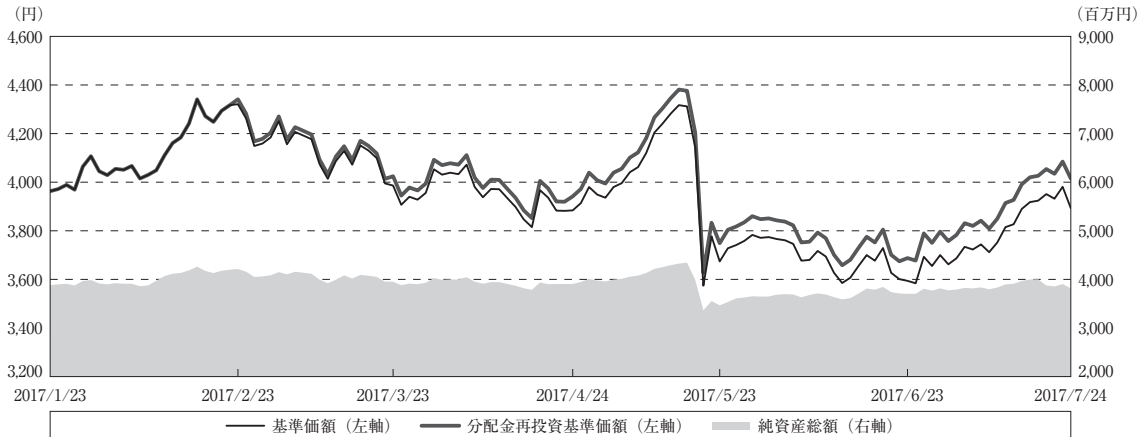
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2017年1月24日～2017年7月24日）



第73期首：3,963円

第78期末：3,893円（既払分配金(税込み):120円）

騰落率：1.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年1月23日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2017年7月24日）のLM・ブラジル高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は3,893円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス1.3%（分配金再投資ベース）、基準価額は50円（分配金込み）上昇しました。株式要因がプラスとなったことから基準価額は上昇しました。一方、為替要因はブラジルリアル安・円高を反映し、マイナス寄与となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

（2017年1月24日～2017年7月24日）

項 目	第73期～第78期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	円 37 (18) (18) ( 1 )	% 0.953 (0.458) (0.458) (0.038)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	4 ( 4 )	0.114 (0.114)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 ( 保管費用 ) ( 監査費用 ) ( 印刷等費用 )	5 ( 4 ) ( 0 ) ( 1 )	0.125 (0.100) (0.007) (0.017)	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
合 計	46	1.192	
作成期間の平均基準価額は、3,934円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

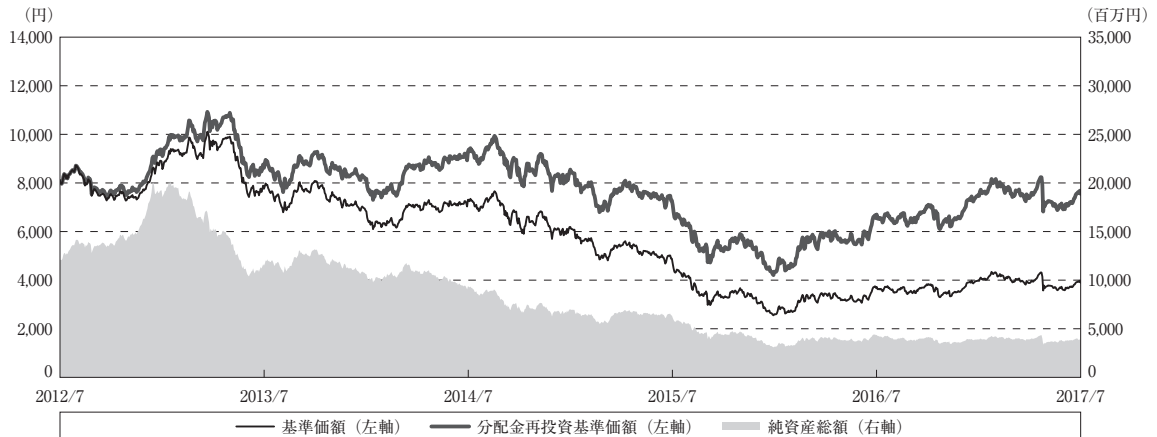
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2012年7月23日～2017年7月24日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年7月23日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年7月23日 決算日	2013年7月23日 決算日	2014年7月23日 決算日	2015年7月23日 決算日	2016年7月25日 決算日	2017年7月24日 決算日
基準価額 (円)	8,086	7,858	7,305	4,676	3,723	3,893
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	960	960	960	560	280
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	9.0	6.4	△ 24.4	△ 5.5	12.7
純資産総額 (百万円)	12,129	11,688	9,315	6,123	4,364	3,815

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## 投資環境

（2017年1月24日～2017年7月24日）

当作成期のブラジル株式市場は小幅上昇しました。期の前半は、インフレ環境の改善が市場予想を上回るペースで進み、ブラジル中央銀行（BCB）が積極的な利下げを継続するとの見方が強まったことなどから、株価は上昇しました。しかし、その後、資源価格の伸び悩みや、ブラジルの財政改革の核となる年金改革法案の行方に不透明感が生じたことなどから、株価は軟調となりました。

期の半ばは、主要国の株価上昇を受け投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどを背景に、ブラジルの株式市場は上昇しました。年金改革法案の成立へ向け進展が見られたことも、株価の追い風となりました。しかし、その後、テメル大統領が汚職隠蔽工作に関わったとする疑惑が生じ、政局の不透明感が強まるとともに、財政改革に遅れが生じるとの懸念が強まったことから、株価は急落しました。

期の後半は、市場は一旦落ち着きを取戻したものの、テメル大統領が検察に起訴されるなど政局の不透明感が引き続き根強いことなどから、上値の重い展開が続きました。しかし、その後、テメル政権の改革の一角を担う労働法改正案が成立したことや、原油や鉄鉱石などの資源価格が底堅く推移したことが好感され、株価は反発しました。

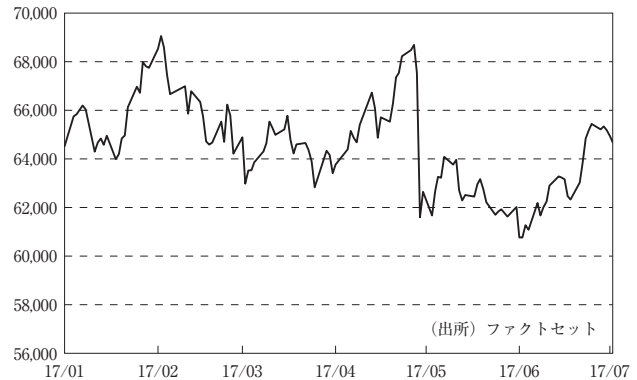
当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、米トランプ政権による景気刺激策への期待感などから米国株式市場が上値を更新し、投資家のリスク資産への選好が高まったことなどを背景に、リアルは対円で底堅く推移しました。しかし、BCBが2017年2月の金融政策委員会（COPOM）において追加利下げを決定し、追加利下げ観測も根強いことなどから、リアルは上値を抑えられました。

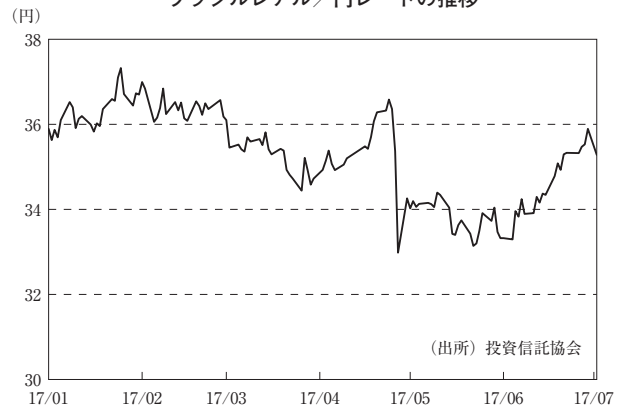
期の半ばは、政局の混乱や財政改革の進捗に関する懸念などを背景に、リアル売り・円買いが優勢となりましたが、年金改革法案の成立へ向け進展が見られたことなどから、リアル買い・円売りが優勢へと転じました。しかし、その後、テメル大統領の汚職関与疑惑が浮上し政局の不透明感が強まったことなどから、リアル売り圧力が急速に強まりました。

期の後半は、市場が落ち着きを取り戻し、リアルは対円で底堅く推移しました。その後、当作成期末にかけては、労働法改正案が成立したことや、欧米の債券利回りの上昇を受け市場全体で円安となった影響などから、リアル買い・円売りが優勢となりました。

ブラジルボエバ指数の推移



ブラジルリアル／円レートの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（2017年1月24日～2017年7月24日）

当ファンドは「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組み入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

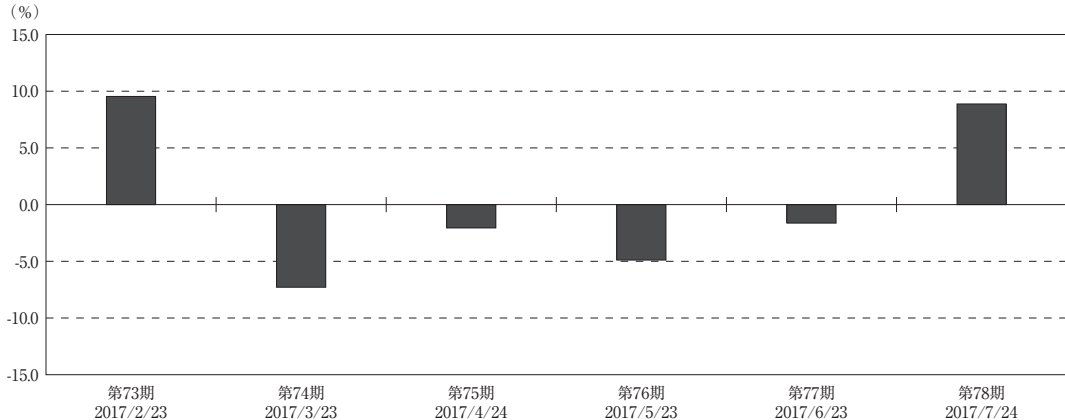
## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年1月24日～2017年7月24日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

（2017年1月24日～2017年7月24日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位:円、1万口当たり・税込み）

項 目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2017年1月24日～ 2017年2月23日	2017年2月24日～ 2017年3月23日	2017年3月24日～ 2017年4月24日	2017年4月25日～ 2017年5月23日	2017年5月24日～ 2017年6月23日	2017年6月24日～ 2017年7月24日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.461%	20 0.499%	20 0.512%	20 0.541%	20 0.553%	20 0.511%
当期の収益	20	-	-	20	-	5
当期の収益以外	-	20	20	-	20	14
翌期繰越分配対象額	832	813	793	797	777	763

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

ブラジル経済については、足元では国内景気に底堅さが見られており、労働法改正案が可決されたことから、引き続き経済・財政改革の進展が景気を下支えすると予想されます。ただし、政局の不透明感は依然根強く、テメル大統領の起訴問題や年金改革法案の行方などが、引き続き今後の景気を左右すると予想されます。

金融政策については、政局の混乱に伴う財政改革の進捗状況には注意が必要ですが、インフレ環境の改善が速いペースで進んでいることを背景に、BCBは景気下支えのために緩和スタンスを継続すると予想されます。

為替市場については、政局の動向や財政改革の行方に影響を受け不安定となる可能性があります。ただし、足元の景気に底打ちの兆しがみられる中、ブラジルの金利が依然として相対的に高いことから、海外投資家による資金流入がレアルを下支えすると予想されます。

株式市場については、ブラジルの政局の動向に影響を受ける可能性はあるものの、財政改革の進展や景気回復への期待感が株式市場を下支えすると予想されます。当面は、年金改革法案の行方に注目が集まります。また、BCBによる金融緩和が継続されると予想されることも、株価を下支えすると見込まれます。

## お知らせ

該当事項はございません。

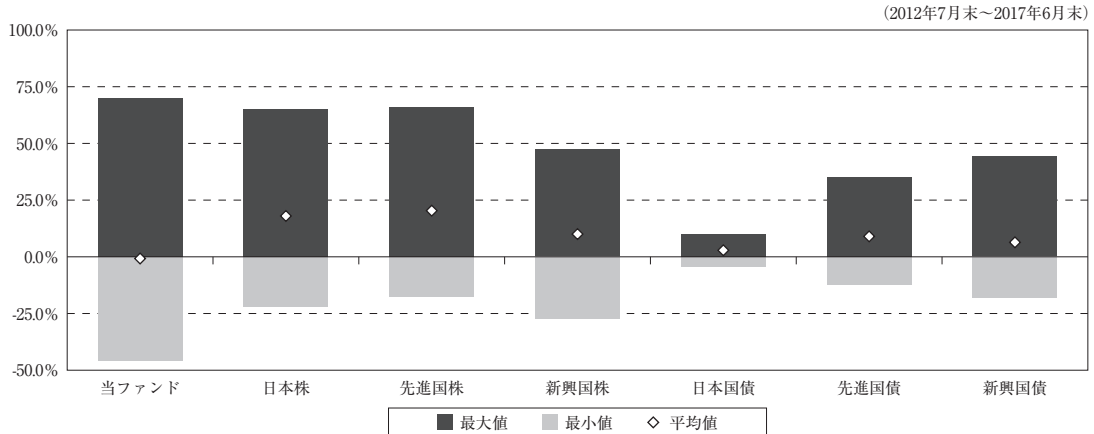
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年1月24日～2021年1月25日まで	
運用方針	主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	



（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	70.0	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	△ 45.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	△ 0.8	18.0	20.3	10.0	2.9	9.0	6.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年7月から2017年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

（2017年7月24日現在）

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第78期末
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	100.7%
組入銘柄数	1銘柄

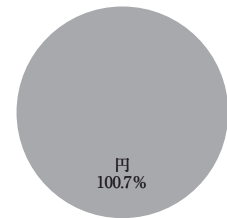
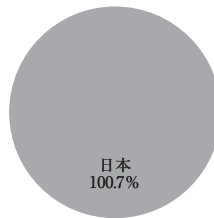
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

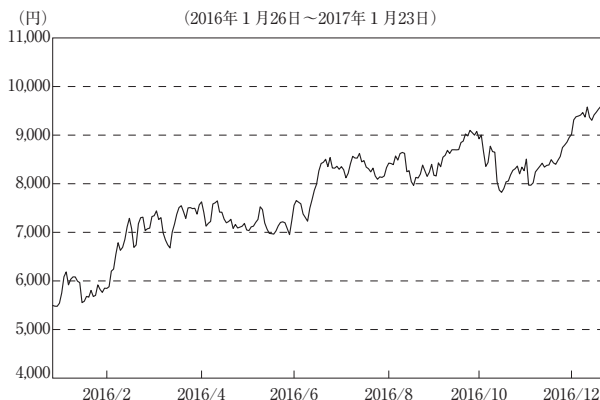
項目	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末
	2017年2月23日	2017年3月23日	2017年4月24日	2017年5月23日	2017年6月23日	2017年7月24日
純資産総額	4,214,248,643円	3,952,164,701円	3,906,438,102円	3,465,886,273円	3,703,492,705円	3,815,352,421円
受益権総口数	9,752,504,373口	9,914,727,592口	10,059,048,758口	9,433,349,125口	10,304,579,999口	9,800,955,819口
1万口当たり基準価額	4,321円	3,986円	3,884円	3,674円	3,594円	3,893円

\* 当作成期間（第73期～第78期）中における追加設定元本額は2,243,982,430円、同解約元本額は2,234,898,591円です。

## 組入上位ファンドの概要

### L M・ブラジル高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年1月26日～2017年1月23日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式)	20 (20)	0.265 (0.265)
(b) その他費用 (保管費用)	17 (17)	0.215 (0.215)
合計	37	0.480

期中の平均基準価額は、7,709円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2017年1月23日現在)

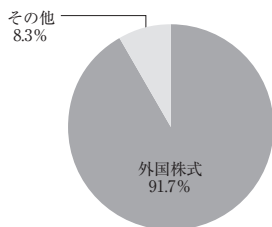
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	金融	ブラジルリアル	ブラジル	9.0
2	BANCO BRADESCO SA-PREF	金融	ブラジルリアル	ブラジル	8.9
3	TELEFONICA BRASIL S.A.	電気通信サービス	ブラジルリアル	ブラジル	7.3
4	BM&FBOVESPA SA	金融	ブラジルリアル	ブラジル	6.9
5	CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	6.4
6	CIA SANEAMENTO DO PARANA-PF	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	5.7
7	COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO	エネルギー	ブラジルリアル	ブラジル	4.9
8	TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	4.5
9	AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
10	MAHLE-METAL LEVE SA	一般消費財・サービス	ブラジルリアル	ブラジル	4.2
	組入銘柄数		20銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

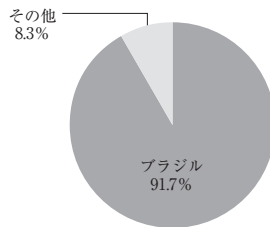
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

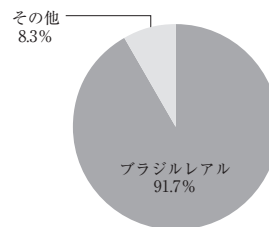
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。